



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法枠を つくりました

地元の声

・小さい石が時々落ちてくるので、不安な状況にある。早く工事をやってもらいたい。（地元住民）

事業前

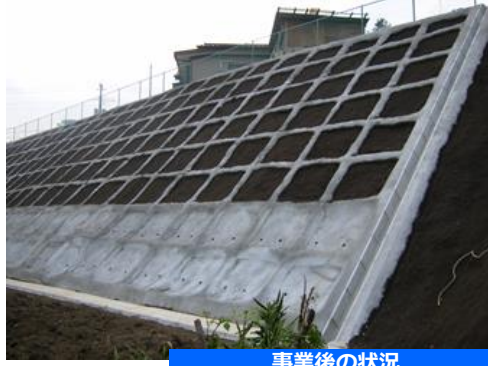
◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆法枠の整備により、斜面の風化を防ぎ、がけ崩れによる被害のリスクを軽減しました。

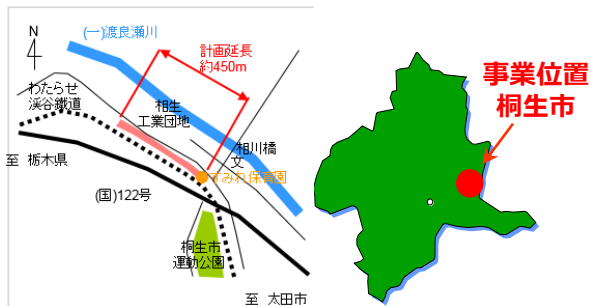


事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：桐生市相生町三丁目
- 事業内容：法枠工
- 事業期間：平成22年度～令和4年度

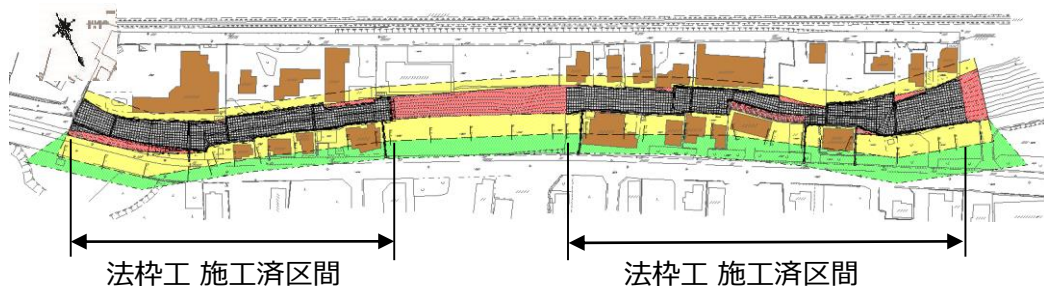
※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度に本事業は完了しました。



- 急傾斜地
- 誘発助長区域
- 被害想定区域
- 人

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了